

支え合うきよせ委員会（清瀬市生活支援・介護予防サービス提供主体等協議体）

第9回 地域資源・ニーズ把握部会（A部会）記録

日時	平成29年12月15日（金） 9時30分～12時00分	場所	コミュニティープラザ 会議室
出席者	阿久津委員長、内田部会長、田中副部会長、金川委員、名古屋委員、福嶋委員、田島委員、小野委員 生活支援コーディネーター：鍵和田氏、森氏、原田氏、鈴木 事務局：関口課長、田中係長、上垣氏、吉村氏		
欠席者	なし		

1 地域団体等との意見交換会まとめ（報告）

- ・地域団体との意見交換会の記録作成済。各地域（グリーンタウン・旭が丘・中里・梅園）の要約と一緒に支え合い情報ファイル・ノートを手渡しにて配布する。
- ・基本的には、意見交換会に参加した方全員に意見交換会の記録を配布。連絡先を知らない方もいるため、連絡の取り方は相談させてほしい。
- ・個人情報保護については、今後地域福祉の視点での個人情報の取り扱いについて部会で勉強会を開いていきたい。
- ・地域団体との連携を続け、広げていくことが必要。

2 支え合い情報ファイル・ノートの配布と活用について

- ・生活支援コーディネーターを中心に各関係機関・団体に配布中。活用してもらえるように手元に置いてもらい、確認等ある際は生活支援コーディネーターへ連絡をいただく。
- ・支え合いノートは、地域の核になる方にお渡し活動や地域で気づいたことを記入してもらい、必要に応じ生活支援コーディネーターに連絡してもらおう。
- ・図書館などの公共機関に支え合い情報ファイルが置けるか、市より相談してみる。
- ・委員長より市長・副市長・小山部長へ支え合い情報ファイル・ノートができあがり、地域へ配布していることを報告する。
- ・残りの部数を調整し老人いこいの家や市役所などに配布できるか検討する。
- ・事例検討3件を報告の共有（ボランティア調整での成功事例・失敗事例）
- ・ボランティアについては、市としては課を超えて今後ボランティアバンクのようなものを検討している。進捗の報告は随時市よりあり。
- ・目に見える形で情報発信をする方法として、地域情報誌（新聞）を支え合う清瀬委員会が作成することや、新たなことが始まる際にお知らせできる掲示板を作成すること、またその情報が市の情報サイトに連動してもよいのではないかと。→次回の議題として、「情報誌・情報サイトをどのように取り組んでいくのか」「社協のホームページに掲載できないか」を取り上げていく。新年度方針として取り上げてはどうか。市民向けの広報として何が必要なのかを検討していく。2月の本委員会に議題として、新年度の方針として挙げる。先に委員長・部会長で打ち合わせを行う。

3 今年度のA部会の取り組みの振り返り

- ・A部会では、地域資源・生活ニーズを把握することと実際に支え合いの仕組みを作っていくこと

が

必要。事例を集めることで、仕組みづくりや支え合いの推進の課題が見えてくるのでは。今後は、課題を具体的に解決するための議論ができるかといいのではないか。

- A 部会、B 部会とで開催することで、より課題に沿った議論ができたのではないか。また、情報ファイルのように形になったことは大変よかった。

4 その他

- 平成 30 年 1 月 18 日（木）TBS ラジオで毒蝮三太夫がコミュニティプラザひまわり「ゆうゆう元気塾」に取材がある。

5 今後の予定

(1) 本会開催日程

- 2 月 21 日（水）13 時半～ コミュニティプラザひまわり会議室 4

(2) 部会開催日程

- 1 月 26 日（金）9 時半～11 時 情報労連東京福祉センター「友遊」